

2017 環境アクションレポート ハイライト

九州電力グループは、環境にやさしい企業グループを目指し、事業活動と環境を両立する環境経営を推進しています。

ここでは、環境負荷の低減や環境保全活動などにおける、主な取組みを紹介します。



循環型社会形成への取組み P.27

廃棄物抑制のためゼロエミッション活動に取り組んでいます。

循環型社会の形成に向け、廃棄物の適正な管理・処理を行うとともに、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進によるゼロエミッション活動に取り組んでいます。



回収した古紙で作った製品



地球環境問題への取組み P.17

再生可能エネルギーでは国内初となる大規模な潮流発電の調査を開始しました。

長崎県の五島沖で、国内では初めてとなる商用スケールで大規模な潮流発電の実証に向けた、潮流調査を開始しました。 P.21



潮流発電機

インドネシアでサルーラ地熱初号機が運転を開始しました。

世界最大規模の地熱IPPプロジェクトとして、インドネシアで建設を進めてきたサルーラ地熱IPPプロジェクトの初号機が営業運転を開始しました。 P.26



サルーラ地熱発電所初号機の全景





社会との協調 P.35

くじゅう坊ガツル湿原一帯における 環境保全活動に取り組みました

ラムサール条約に登録された国際的にも重要な湿地を守り続けるため、野焼きや外来種駆除を実施しました。また、野焼きのリーダーとなる人材の養成を始めました。 P.35



野焼き



リーダー養成(実技指導)

保育園の園児の皆さんに芋掘りを 体験してもらいました。

新大分発電所の構内で、地元の保育園の園児の皆さんに、自分たちで苗付けした「さつまいも」の収穫を体験してもらい、自然や命の大切さを感じてもらいました。 P.38



芋の苗付け



芋掘り



地域環境の保全 P.29

大岳発電所の更新計画に係る 環境アセスメント (環境影響評価)が完了しました。

国内初の事業用地熱発電所である大岳発電所の更新計画に係る環境アセスメントで、希少植物であるヒゴタイやアソコギリソウが見つかったため、適切な環境保全対策を行います。



ヒゴタイ



アソコギリソウ



環境管理の推進 P.39

従業員の環境意識高揚を図るため、 毎年、教育や研修等を実施しています。



社外講師による環境講演会

各事業所の環境業務担当者を対象に、環境経営の推進やコンプライアンスに関する必要な知識の習得を目的として社内研修を実施しました。